

☆ 地域に息づく伝統芸能「島文楽」を堪能！ ☆

6月28日（土）午前10時、葉栗公民館で郷土の伝統芸能「島文楽」の定期公演が開催されました。より多くの市民にその魅力を伝えようと、今回で3回目の開催です。

今回の公演では、五穀豊穡と子孫繁栄を願う「三番叟^{さんばそう}」と、明治時代に作られた浄瑠璃で盲目の沢市と妻お里の夫婦愛を描いた「壺坂観音霊験記^{つぼさかんのんれいげんき} 山の段^{やま だん}」が、島文楽保存会の皆さんによって披露されました。

特筆すべきは、今回、一宮市博物館の協力で、岐阜県本巣市に伝わる「真桑文楽^{まぐわぶんらく}」から義太夫節を演じる太夫と三味線の方が招かれたことです。人形遣いと三業一体となった見事な技に、観客は思わず引き込まれていました。

開場時には多くの人々が詰めかけ、会場は満席に。開演に先立ち、島文楽保存会の小島会長から演目の説明があり、伝統芸能である「島文楽」をより身近に感じられるひとときとなりました。

島文楽は、昭和36年3月に一宮市指定無形文化財に指定され、現在、11歳から88歳までの15名の皆さんがその伝統を継承しています。興味をお持ちの方は、毎週日曜日午後5時から島村公民館で練習が行われていますので、ぜひ一度、お立ち寄りください。

また、葉栗広報チャンネル（YouTube）では、今回の島文楽公演の動画が配信されています。ぜひご覧ください。



葉栗広報チャンネル

☆ 杉原千畝記念館と岩村城下町 ☆ ～葉老連研修旅行～

6月26日（木）に、葉老連研修旅行が行われました。訪問先の杉原千畝記念館では、第二次世界大戦中にナチスの迫害を逃れるユダヤ人のために日本本国の指示に逆らい、日本の通過ビザ（命のビザ）を発給し続けた杉原千畝氏の思いが伝わりました。その後、岩村城下町（散策）、恵那峡山菜園での飛騨牛すき焼（昼食）のほか、恵那川上屋、駅おばあちゃん市での買物などをしました。当日は大雨の予報が出ており大変心配していましたが、奇跡的に雨の影響は軽微で済み、楽しい旅行となりました。



杉原千畝記念館『決断の部屋』



昼食（恵那峡山菜園）



試食&休憩（松浦軒本店：岩村）

